



H23 年度 学術創成研究成果報告会 Time Table

開催日時：平成 24 年 3 月 19 日（月）9：00（準備開始）～17：00

開催場所：芝蘭会館 山内ホール

<http://www.med.kyoto-u.ac.jp/siran/yamauchi.htm>

TimeTable

(9:00 準備)

9:10 受付開始(資料配布)

9:30 G1 ポスター発表 (60min)

発表者：青井先生『ラットの神経筋骨格モデルを用いた筋シナジーに基づく
運動指令の分節化と後肢障害物回避歩行』

木原 康之『直接教示の容易性と高難易度の折り紙作品の実現を
考慮したロボットハンドの設計』

船戸 徹郎『運動学シナジーを内部モデルとする歩行制御則の力学
的検証』

大島 裕子『二ホンザル歩行時の筋電と運動の解析』

藤木 聡一郎『左右分離型トレッドミルにおける2脚ロボットの適
応的歩行生成』

金田 さやか『動作における観察者の認知指標の抽出』

岡本 鷹文『特異値分解による動作特徴抽出のための姿勢表現』

徳永 寿慧『動作解析のための特異スペクトル変換の拡張と姿勢表現』

北 侑祐『特異値分解による動作変化の抽出に基づく運動習熟支援』

10:30 G2 ポスター発表 (60min)

発表者：守山 基樹『CLOS を活用した街並み景観の記述手法の構築』

木曾 久美子『人間行動の記号過程に関する確率ネットワークモデルと
そのシミュレーション』

北 雄介『フレーム理論を用いた都市の様相の把握過程の分析』

山口 純『C. S. パースの探究の理論に基づく設計方法論の構築』

水山先生『モーションキャプチャを利用した歩行動作における感情特
徴量の抽出と動作生成』

『デルファイ法型インタラクシオンを通じた集団意思決定メ
カニズムの設計と検証実験』



安 伸樹 『機能群の句構造分析に基づくメニュー階層のユーザビリティ設計』

宮島 健 『トラッキングタスクにおける聴覚情報呈示のためのパラメータマッピング手法』

11:30 G3 ポスター発表 (60min)

発表者:小田 浩平『関節軟骨超音波測定支援における角度情報呈示方法の検討ー閾値を導入したパラメータマッピング方法の有効性の検討ー』

一色 健司『軟骨細胞間の global attraction 評価の試み』

神谷 友理『シナプス可塑性を考慮したニューラルネットワークの漸近挙動の位相振動子解析』

生川 亮太『動的ネットワーク上の囚人のジレンマにおける個性のばらつきによる協力促進効果』

今井 貴史『長時間後の影響まで見積もった位相応答曲線の効率的計測法』

太田 絵一郎『三体相互作用する神経振動子ネットワークの複数の線状アトラクタとアナログ情報の時間的符号化』

尾形先生『対話データの再帰結合神経回路学習と相槌タイミング予測』
『再帰型神経回路モデルを用いた視野変化予測と場所知覚ニューロンの発現』

福田 一『無関係モデルを用いたマルチモーダル 情報統合と物体クラスタリング』

白井 亨『ノンパラメトリックベイズ理論に基づく統合的自動作曲手法の提案』

12:30 昼休憩 (60min)

13:30 榎木先生 挨拶(30min)

14:00 総合討論 (150min) ※研究メンバーのみ

- ・ H23 年度の研究総括討論
- ・ 今後の展望

16:30 Closing